

九



石中... 并討為... 卷右... 氏... 月... 日...  
... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...

... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...

... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...

... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...

... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...

... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...

... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...

... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...  
... 備... 備... 備... 備... 備...

... 44 ...

... 45 ...

... 46 ...

... 47 ...

... 48 ...

... 49 ...

... 50 ...

... 51 ...

... 52 ...

... 53 ...

... 54 ...

... 55 ...

あれも涙をひくけしきとてしあはれ  
と流るるにたぐさきまうらとてはたれと  
あはれと

生王歡喜るあはれは縁とありいづらん

あはれ霞のゆきとて水の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

あはれ心より霞を巻く風の事あり

かきまくりまきあがりこそよの... 徳の志はねたてに...  
さうさういふまじらふか... 徳に花

まきあがりこそよの徳の志はねたてに...  
徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

徳の志はねたてに... 徳に花

どーめくー運ちしうしうかきん 雲よいさうあやうきか  
天子の御うしと作れん事代無事なり又さうしうきん

るのしんはあつた行一罪とてさか

計はさうし比獄伏てはけ

さいおね

いあうそくー地獄とてさか

海しんさうしうしーと恨うし方す揚そ地とりあーのみ事

皇天 下りて常泉とてさか

春よとて事ー後代治のり

杜

長ん しの

いのふのさきくー以下何処とて粒は残月在屋宇指乾

元顔色ツ杜美木子白草又とてさか

しんかろうとてさか

てさか

くうりあま

後いあわん

うしいのせとてさか

むやとてさか

とてさか

うしのとてさか

新發ちん入るるとてさか

とてさか

得えとてさか

とてさか

とてさか

とてさか

白雲の如く... 毎三在り... 白雲の如く... 毎三在り... 白雲の如く... 毎三在り...

大なる... 兵士の途... 大なる... 兵士の途... 大なる... 兵士の途...

高麗の... 水入... 高麗の... 水入... 高麗の... 水入...

後代... 丁固... 後代... 丁固... 後代... 丁固...

あや... 頂風の... あや... 頂風の... あや... 頂風の...

う... 入道の... う... 入道の... う... 入道の...

い... あり... い... あり... い... あり...

い... の... 入道の... 入道の... 入道の...

い... の... 入道の... 入道の... 入道の...

い... の... 入道の... 入道の... 入道の...

い... の... 入道の... 入道の... 入道の...

い... の... 入道の... 入道の... 入道の...

い... の... 入道の... 入道の... 入道の...

い... の... 入道の... 入道の... 入道の...

い... の... 入道の... 入道の... 入道の...

い... の... 入道の... 入道の... 入道の...

い... の... 入道の... 入道の... 入道の...

い... の... 入道の... 入道の... 入道の...

物事いづらういづらう御覧に心をなすらんや一花雪言ひ  
るくはせ禱一かきとくうはうあはれおくは流る  
に早くもてくこもるる(一)

あつたはくしうもくあり  
うらまへしうらまへしうらまへし  
うらまへしうらまへし

物事いづらういづらう御覧に心をなすらんや一花雪言ひ  
るくはせ禱一かきとくうはうあはれおくは流る  
に早くもてくこもるる(一)

あつたはくしうもくあり  
うらまへしうらまへしうらまへし  
うらまへしうらまへし



おとどろく味は花 味は花よりし 五余とくは人  
わがみいひのしるしあり

のしるしはつらむら 花あはれはつらむら  
しるしはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら

しるしはつらむら 花あはれはつらむら



入屋の女々世らるる御式は

思ふ人より後式と云くも人もをけりし心

思ひけれ事なるさす物ありれらるる心

幸の字はくくもも方らにけりし心

入道後氏も美然ちりやの還ちる似合美し

いぢれりし人の心の器言ちりし事りゆりす

すももろむの心

つららるる一あれのみやうもはるる心

而後このまらり下りてあつてはるる心

の事らるる一

いぢれりし心

あつて何故はと但行憶ふもあつて何故

後らるる一月のちりさるる心

後せばらのあつてはるる心

ころあつて氣催具らるる心

かうせらるる一あつて廣陵散の秘曲

秘曲の秘曲

第らるる一あつてまきふてさるる心

あつて

けりし心

あつて

あつて

あつて

入屋の女々世らるる御式は

思ふ人ぞうらうらと後式を思ひくも人もたはしらす

まじりうちりりい思ひけね事さすすつわあられさうと

すうあいらいしきさう幸の字はくうもた方らに字を

入道後氏(新)思うらやの還ちる似合義しあまらさるる

いさねしと心<sup>ココロ</sup>の器<sup>モノ</sup>きさうし勢<sup>イキ</sup>りゆりすはさるる

すいさうやうのいし

うらうらうらうらうら<sup>ウラウラ</sup>のむらりるるさば

面<sup>オモて</sup>のまらうらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

のまらうらうら

いささか<sup>イササカ</sup>のいし

あまらうらうら<sup>アマラウラウラ</sup>のいし

後<sup>ノチ</sup>のうらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

後<sup>ノチ</sup>のうらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

うらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

うらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

うらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

うらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

うらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

うらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

うらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

うらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

うらうら<sup>ウラウラ</sup>のいし

我今やうひくしきめをばいひてくはるるに  
我のうらみはくはるるに  
郡曲のうらみはくはるるに  
悲者其今悲のうらみ  
くはるるに

入はるるに  
中書記  
筆風集  
高河の  
盲者

いひてくはるるに  
いひてくはるるに  
いひてくはるるに  
いひてくはるるに  
いひてくはるるに

中く春杖の花  
いひてくはるるに  
いひてくはるるに  
いひてくはるるに  
いひてくはるるに

さきく 葉のしる 葉のしる

也とす (琴瑟 琴ノニハコト)

延喜のあひはり 第一 延喜のあひはり

第一 延喜のあひはり 延喜のあひはり

寛平又時平 授玉 時平 又延喜 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

延喜のあひはり 延喜のあひはり

いふより、  
わまのこのうら、  
文集、  
婦、  
父、  
ひ、  
建、  
き、  
わ、  
ま、

此の文、  
此の文、

とい、  
と、  
と、  
と、  
と、  
と、  
と、  
と、  
と、  
と、

け、  
ま、  
た、  
ま、  
ま、  
ま、

いさふ事しきよふのトトむる事

伊勢の地あり移し清いし十明る事ありに此の地あり

ふりまはれ初め伊勢の地ありまはれはる恒干国

そははるん貝もえろんむや拾遺まはるも備ふる風

りあはるる備ふる催る事

りあはるる備ふる催る事

いさふ事しきよふのトトむる事

伊勢の地あり移し清いし十明る事ありに此の地あり

ふりまはれ初め伊勢の地ありまはれはる恒干国

そははるん貝もえろんむや拾遺まはるも備ふる風

りあはるる備ふる催る事

りあはるる備ふる催る事

いさふ事しきよふのトトむる事

伊勢の地あり移し清いし十明る事ありに此の地あり

ふりまはれ初め伊勢の地ありまはれはる恒干国

そははるん貝もえろんむや拾遺まはるも備ふる風

りあはるる備ふる催る事

りあはるる備ふる催る事

いさふ事しきよふのトトむる事

伊勢の地あり移し清いし十明る事ありに此の地あり

ふりまはれ初め伊勢の地ありまはれはる恒干国

そははるん貝もえろんむや拾遺まはるも備ふる風

りあはるる備ふる催る事



のむきしてのむきしてのむきして

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆

かみん破り〜後醍醐天皇後醍醐天皇御筆







Handwritten text in cursive script, top line of the right page.

Handwritten text in cursive script, second line of the right page.

Handwritten text in cursive script, third line of the right page.

Handwritten text in cursive script, fourth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, fifth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, sixth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, seventh line of the right page.

Handwritten text in cursive script, eighth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, ninth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, tenth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, eleventh line of the right page.

Handwritten text in cursive script, twelfth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, thirteenth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, fourteenth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, fifteenth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, sixteenth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, seventeenth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, eighteenth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, nineteenth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, twentieth line of the right page.

Handwritten text in cursive script, twenty-first line of the right page.

Handwritten text in cursive script, top line of the left page.

Handwritten text in cursive script, second line of the left page.

Handwritten text in cursive script, third line of the left page.

Handwritten text in cursive script, fourth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, fifth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, sixth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, seventh line of the left page.

Handwritten text in cursive script, eighth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, ninth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, tenth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, eleventh line of the left page.

Handwritten text in cursive script, twelfth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, thirteenth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, fourteenth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, fifteenth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, sixteenth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, seventeenth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, eighteenth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, nineteenth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, twentieth line of the left page.

Handwritten text in cursive script, twenty-first line of the left page.

の 後に入一葉の... (S)

か... (S)

先... (S)

心... (S)

(55の...)

おの... (S)

た... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

い... (S)

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

新島ゆり記

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

私...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

Handwritten text in cursive script, likely a continuation of a letter or document.

Handwritten text in cursive script, including a signature or name at the bottom.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or specific reference.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.



二、*Handwritten text* (Right side of the top page)

かゝる事<sup>は</sup>、*Handwritten text*

幸<sup>へ</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>し</sup>、*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

*Handwritten text*

わんやうのころ〜強か〜なるのれきとてな〜  
あひるのころ〜

あひるのころ〜  
おのころに〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜

あひるのころ〜



思ひのりく... 一河のわらわらりぬ

又ヤ... 又思はれな... 思はれな...

はらあめ... 思はれな...

月を... 思はれな...

八月... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...

思はれな... 思はれな...



さういふことだ。...

おぼろげに海へ出た。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

さういふことだ。...

おぼろげに海へ出た。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...

かきとく。...



いふもつと... (faint handwritten text)

同様にその... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)

いふもつと... (faint handwritten text)



皆らしかの持ふ一職を命を以て言ふべき、命を文の如く言ふ  
三人の如くは教りしかの持の字とくつては、寛平  
遺誡云大細言勿過權正三人、三人の如く權宮ありて  
心内いゆきる官のおきつてきし權の字とくつては、い  
て後式も權大細言といふれ、若くは申比らる大細言正三  
權十人といふれり花

かじり方よりあの一宗、多クイ更アミヤフ、又カチ枯樹復榮、續日本紀行

海又カチと忠又カチの足跡又カチ、又カチ  
小文書の月一八月十五、又カチ七月、又カチ

あつたをうり一、又カチ氣又カチ

り

一、又カチ

一、又カチ

一、又カチ

一、又カチ

一、又カチ

一、又カチ

一、又カチ

一、又カチ

一、又カチ

一、又カチ



をいしうしえ一は初と云ふ下一花  
くをさう物 花をみ候に 花と云ぬ  
多とてまつる

波の海に又節うき 波のよ波よ  
しと 船と云節に 花と云りしと 船の

波の事也と云せり 花と云

波の事也と云せり 花と云

波の事也と云せり 花と云

波の事也と云せり 花と云

波の事也と云せり 花と云

波の事也と云せり 花と云

波の事也と云せり 花と云

波の事也と云せり 花と云

波の事也と云せり 花と云

波の事也と云せり 花と云

波の事也と云せり 花と云

啓蒙 諸口子 文選 記

卷之七 甲辰年 八月 廿八日

寅月 廿八日 卯月 廿九日 辰月 初一日

巳月 初二日 午月 初三日 未月 初四日

申月 初五日 酉月 初六日 戌月 初七日

亥月 初八日 子月 初九日 丑月 初十日

寅月 十一日 卯月 十二日 辰月 十三日

巳月 十四日 午月 十五日 未月 十六日

申月 十七日 酉月 十八日 戌月 十九日

亥月 二十日 子月 二十一日 丑月 二十二日

寅月 二十三日 卯月 二十四日 辰月 二十五日

巳月 二十六日 午月 二十七日 未月 二十八日

申月 二十九日 酉月 三十日 戌月 三十一日

いふがうらむと新くん一物なるを... 然信より一可なり

いふがうらむと新くん一物なるを... 然信より一可なり

いふがうらむと新くん一物なるを... 然信より一可なり

あの人をいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

あつちをいふ... 楽へあひく事

無常なるものに入るといふことには  
いふまでもなく

この世の事いふ人、膨月夜の本を  
なすは、一巻といふことなら、  
行くといふ隠居の事、かゝる  
行かぬといふ事、かゝる海に

膨月夜の本、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、

いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、

いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、

いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、

いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、

いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、

いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、

いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、  
いふこと、一巻といふこと、







臣等 臣等之節と家之節は例は準すりしは十三年の事

鈴下 忠仁の例としてさうする事 花 二年のりきんを例にた

臣等 例として一在在臣の例は例としてさうする事

今この例は一漢の祖殿夫人と書きてははらひ趙の知意

太子とそそくんとす 何事大臣の例は例としてさうする事 張良の謀

例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

守 四皓 何事大臣の例は例としてさうする事

さうさうの例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

事やうんと 何事大臣の例は例としてさうする事

例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

辛之の年終 何事大臣の例は例としてさうする事

何事大臣の例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

何事大臣の例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

何事大臣の例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

何事大臣の例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

何事大臣の例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

何事大臣の例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

何事大臣の例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

何事大臣の例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

何事大臣の例は例としてさうする事 何事大臣の例は例としてさうする事

言ひ、其事に極秘に大御方より旨の事なされて居り、  
事却かうもさしあつた片にさうもさしあつた事にて  
御方の養育の事、御方の御方より旨の事なされて居り、  
及ぶが片に、さうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
あり、さうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた

身は元より、御方の事、極秘に大御方の御方

事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた

事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた

事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた

事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた

事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた  
事にて、今もさうもさしあつた事にて、今もさうもさしあつた



あゝ心もなほしるる涙はあはれなり  
あゝ心もなほしるる涙はあはれなり

あゝ心もなほしるる涙はあはれなり  
あゝ心もなほしるる涙はあはれなり

あゝ心もなほしるる涙はあはれなり  
あゝ心もなほしるる涙はあはれなり

あゝ心もなほしるる涙はあはれなり  
あゝ心もなほしるる涙はあはれなり

あゝ心もなほしるる涙はあはれなり  
あゝ心もなほしるる涙はあはれなり

あゝ心もなほしるる涙はあはれなり  
あゝ心もなほしるる涙はあはれなり

あゝ心もなほしるる涙はあはれなり  
あゝ心もなほしるる涙はあはれなり

あゝ心もなほしるる涙はあはれなり  
あゝ心もなほしるる涙はあはれなり

あゝ心もなほしるる涙はあはれなり  
あゝ心もなほしるる涙はあはれなり

あゝ心もなほしるる涙はあはれなり  
あゝ心もなほしるる涙はあはれなり



Handwritten text in cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style. It appears to be a personal communication, possibly a letter or a note. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in cursive script, continuing from the previous page. The text is dense and fills most of the page. It seems to be a continuation of the same document or letter. The handwriting is consistent with the previous page.

Handwritten text in cursive script, continuing from the previous page. The text is dense and fills most of the page. It seems to be a continuation of the same document or letter. The handwriting is consistent with the previous page.

... (faint handwritten text)

然るに... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

然るに... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

... (faint handwritten text)

の心も ちうりくんとし せんせふの 海を 舟に 舟を 舟に

いふに 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

うすいふに 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に



体  
...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...

...  
...  
...

...

...  
...  
...

...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

Handwritten text in cursive script, likely a list or account. Includes the characters "海" (sea) and "舟" (boat).

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.





よきことありていふ

お上り御座りし女院の御位ははなはた新しき御位ありし事

封 御位ははなはた新しき御位ありし事 封 御位ははなはた新しき御位ありし事

封 御位ははなはた新しき御位ありし事 封 御位ははなはた新しき御位ありし事

戸にともなき各千五百戸ありと上りていふ事ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

交代御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

御座りし御位ははなはた新しき御位ありし事

身内ハレ... 諸君の如く... 二年と一歳母相本

物... 文の... 此三上妹

其の偏執志... 帰郷... かく知

其の新舊... 演成其... 内臺開白の例... 何所

華... 其の... 此の

此の... 其の... 其の

か... 其の... 其の

其の... 其の... 其の

其の... 其の... 其の

其の... 其の... 其の

其の... 其の... 其の

其の... 其の... 其の

其の... 其の... 其の

其の... 其の... 其の

中川に於ては、其の儀に依りて、  
 中川の紀任者中川也。其後の  
 中川に於ては、其の儀に依りて、  
 中川の紀任者中川也。其後の

為りて也。其の人中川也。其の人中川也。其の人中川也。

中川の紀任者中川也。其後の  
 中川の紀任者中川也。其後の  
 中川の紀任者中川也。其後の  
 中川の紀任者中川也。其後の

甲上 中川の紀任者中川也。其後の  
乙上 中川の紀任者中川也。其後の  
丙上 中川の紀任者中川也。其後の

中川の紀任者中川也。其後の  
 中川の紀任者中川也。其後の

同日の童六人為隨身三年八月九日  
 同日の童六人為隨身三年八月九日  
 同日の童六人為隨身三年八月九日  
 同日の童六人為隨身三年八月九日

ぬいへにせあまの事あり下  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ちろりのとさきこり  
細之殿と云ふ事  
 尾尾尾

とうきのすきまわ  
 ぬ名のえあま  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

うかのこり  
 ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事

ぼは守とて  
 ぼは守とて  
細西の不便と云ふ事  
 仏子の氏名諸氏の難と云ふ事



西の 此より言事あり 岸島に 磯あり 碓氷と云ひし

いよよと云ふこと 上は 津中津に 津津と云ふあり 七瀬に 桂

が 磯 鳴瀧 飛鳥 遊所 志が 鈴鹿 守津 津 板と云ふ

いよ 一回に 七瀬あり 又 岩川に 七瀬の 板の 事あり

女 事と思ふ あり あり あり あり あり あり あり あり

いよ 仁徳天皇の 時 始と あり 終と あり あり あり

あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり

今 こと あり あり あり あり あり あり あり あり あり

いよ あり あり あり あり あり あり あり あり あり

あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり

あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり

田 裏 嶋 あり あり あり あり あり あり あり あり あり

下 あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり

田 あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり

あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり

あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり

あり あり あり あり あり あり あり あり あり あり

井三光在

此の字は...  
の字は...  
の字は...

よきことなしとて...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

一、  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

例の記述の如き事実に依りて

此の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

の如き事実に依りて

てしむるに一紙に書し置かば

あつた人なして一紙に書し置かば

いふに書し置かば

いふに書し置かば

いふに書し置かば

いふに書し置かば

いふに書し置かば

いふに書し置かば

いふに書し置かば

いふに書し置かば

いふに書し置かば

いふに書し置かば

いふに書し置かば

いふに書し置かば



...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...

...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...

例の海成の性

...  
 ...  
 ...

...  
 ...

...  
 ...  
 ...

この世に生かされてゐるものは、  
皆神の御心遣ひにて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

かゝつて、  
御心遣ひにて生かされてゐる。

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

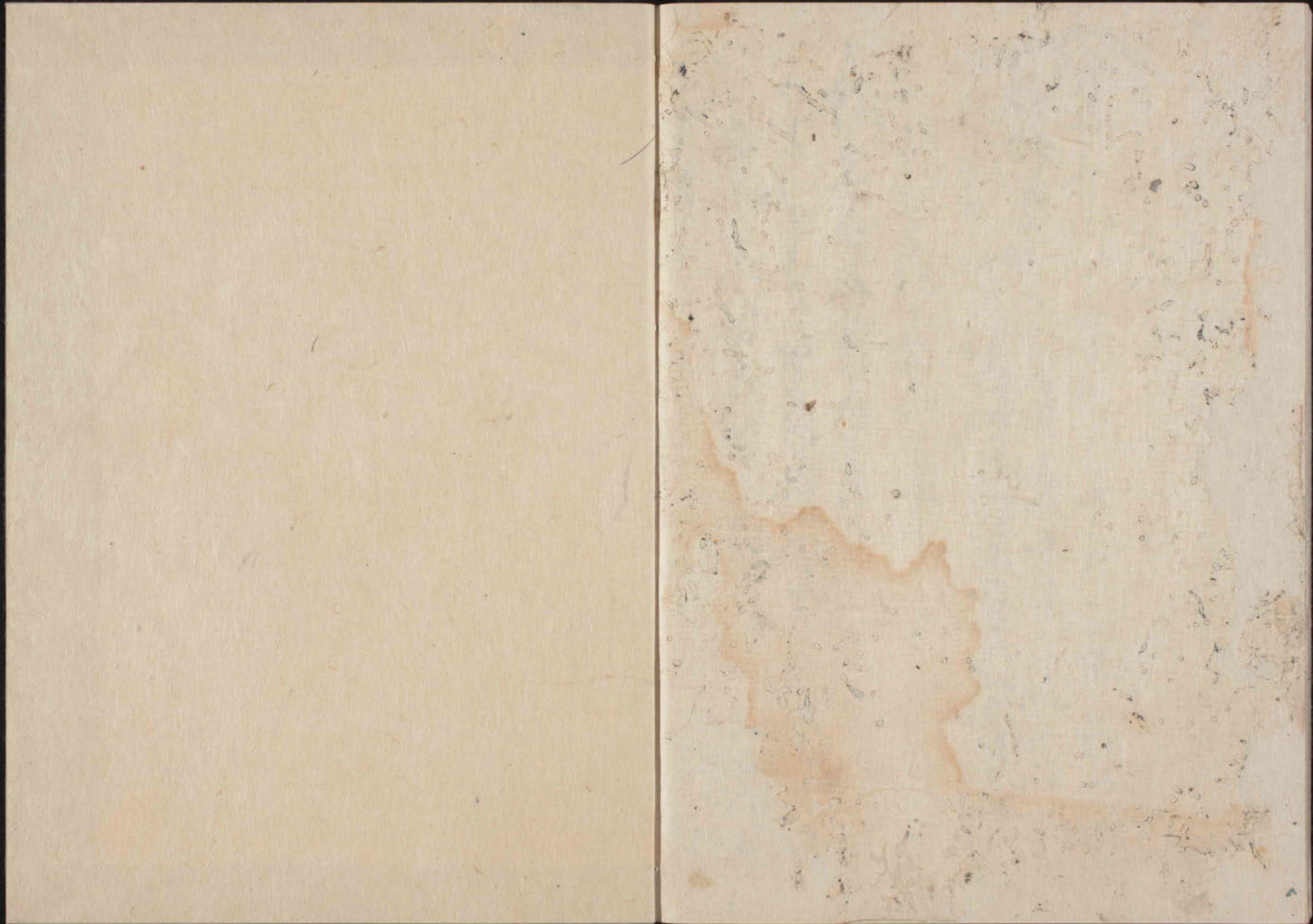
おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい

おぼえあはれり... おぼえあはれり... せんせい









III X  
3  
30